

資料番号	4
------	---

令和6年1月19日

課名 農林水産局森林保全課  
担当者 課長 野上  
内線 3693

## 広島県におけるナラ枯れ被害について

### 1 要旨・目的

ナラ枯れについては毎年度被害の調査を実施しており、令和5年度の被害調査の結果と今後の被害対策について報告する。

### 2 現状・背景

ナラ枯れとは、ナラ類等（特に広島県ではコナラ、ミズナラ）の樹幹にカシノナガクイムシが入り込むことでナラ菌が樹幹内で伝播し、根から水を吸い上げる機能が弱まることで枯死する現象で、主に7～9月頃に被害が確認される。

本県におけるナラ枯れ被害は平成18年度に初めて確認されており、防除対策を実施した結果、平成22年度をピークに減少傾向が続いていたが、夏期に少雨・高温になる年は被害量が増加する傾向がある。

### 3 概要

#### (1) 調査対象

県内の広葉樹林

#### (2) 調査期間

令和5年8月1日から令和5年11月30日まで（集計期間を含む）

#### (3) 調査方法

前年度被害が確認された区域及び市町等から当年度被害の情報提供があった区域について、地上から、国道や県道沿いの定点観測地点における被害箇所をカメラで撮影し、当該画像からナラ枯れの被害木の本数を計測する。

#### (4) 調査結果

令和5年度のナラ枯れ被害は、昨年度を大きく上回る5,873本（対前年比約1.6倍）に増加しており、新たな地域（5市町）を加えた21市町で被害が確認された。

なお、今年の県内の8月の気象状況については、平均気温が前年より0.8℃高く（27.6℃）、降水量は前年の6割程度（87.6mm）であった。

表1 広島県におけるナラ枯れ被害本数の推移（H22 及びH30～R5）

（単位：本）

区分	ピーク時	直近5ヶ年				
	H22	R1	R2	R3	R4	R5
広島市	196	964	1,058	235	150	562
*呉市	0	0	0	0	0	45
竹原市	0	0	0	0	50	60
三原市	0	0	0	0	1	49
尾道市	0	0	0	0	97	680
福山市	0	0	0	0	11	306
府中市	0	0	0	0	196	570
三次市	3	0	120	25	254	186
庄原市	33	29	436	359	701	1,792
*大竹市	0	0	0	0	0	8
東広島市	0	0	0	0	11	95
廿日市市	61	124	429	645	1,630	865
安芸高田市	0	98	871	125	37	100
*江田島市	0	0	0	0	0	2
*熊野町	0	0	0	0	0	3
*坂町	0	0	0	0	0	31
安芸太田町	4,246	88	251	179	175	259
北広島町	1,749	163	467	180	203	0
大崎上島町	0	0	0	0	10	12
世羅町	0	0	0	7	11	40
神石高原町	0	0	0	7	116	208
合計	6,288	1,466	3,632	1,762	3,653	5,873

注：\*印が、新たに被害の確認された市町

## (5) 薬剤による被害対策

カシノナガキクイムシを駆除することが最も効果的であることから、被害木への薬剤くん蒸処理が一般的に行われており、本県では平成22年度から実施している。

なお、被害対策にはひろしまの森づくり県民税を活用している。

表2 広島県における直近3か年の実施状況（R3～R5）（単位：本、千円）

年度	実施市町	事業量（本）	事業費（千円）
R3実績	廿日市市、安芸太田町	131	839
R4実績	安芸太田町	86	635
R5見込	安芸太田町	134	920

## (6) 今後の対応

全県的に被害が拡大している中において、被害の発生状況を市町と共有するとともに、引き続き、ひろしまの森づくり県民税を活用して、市町の被害対策を支援する。

併せて、ナラ枯れは、高齢化したナラ類が被害を受けやすいことから、伐って、使って、萌芽更新により若返らせる方法を組み合わせて実施するなど、他の効果的な対策の情報収集も行いながら、本県での導入に向けて検討する。